



成果指標				
成果指標	分担金及び使用料金収入済額÷分担金及び使用料金調定額＝徴収率(現年度分)			
指標設定の考え方	滞納者の発生を防止し、高い徴収率を確保することで、浄化槽整備の効率的な事業運営を図ることができる。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標26年度
目 標	100	100	0	0
実 績	98.6	98.7	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	浄化槽整備事業に伴う一般管理費であるため、必要と思われる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	業務を実施するうえで、経常的に必要とされる経費であるため、削減は難しい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題